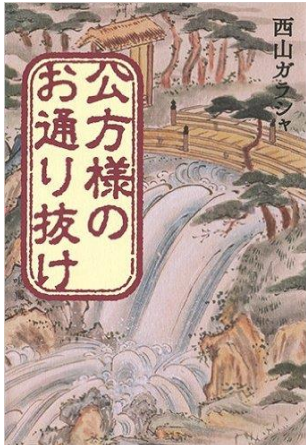


晩秋の「戸山公園」(戸山荘)探訪。

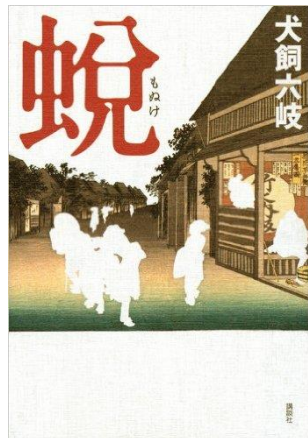
～尾張徳川家の幻の庭園・戸山荘をイメージしてみる～

現在の戸山公園・戸山ハイツアー帯は、江戸時代、徳川御三家の一つの尾張家の下屋敷で、戸山荘と呼ばれていました。この下屋敷には、尾張家2代藩主徳川光友が、寛文8年(1668)に着工した総坪数13万6千余りの回遊式庭園がありました。

敷地内には、築山の玉円峰(現在の箱根山)、街道の宿場を模した町屋などが造られていました。現在はそのほとんどが失われてしまい、箱根山だけがその頃の様子を伝えています。その箱根山に登って、江戸時代の「戸山山荘」をイメージしてみたいと思います。その手がかりとして、次の2冊の小説を取り上げます。



西山ガラシャ
『公方様のお通り抜け』
日本経済新聞出版社刊



犬飼六岐
『蛻』(もぬけ)
講談社文庫



◆日時 平成28年11月18日(金) 午前9時30分～12時30分

◆集合 午前9時25分 穴八幡の鳥居、交番前

◆案内 歴・エコまち歩き案内 小山裕三

●予定コース

穴八幡→放生寺→早稲田大学学生会館(龍門の滝跡)→戸山公園(戸山荘跡)

主催:新宿あ・み・ま倶楽部(新宿チャレスポ) 共催:新宿エコポジの会

参加費 一般500円 会員300円(資料代) 定員:20名

この事業は公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団が支援しています

●11月18日(金)「晩秋の「戸山公園」(戸山荘)探訪。」に申し込みます。

新宿チャレンジスポーツ文化クラブ事務局宛 FAX 03-3353-4352 申し込み日 月 日

お名前			
ご住所			
電話番号			携帯電話番号
メールアドレス			

*ご記入いただいた個人情報はこの「まち歩き」の連絡等にのみに利用します。